一般社団法人サードパス
2017 年度事業報告書
（2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日）

1. 勉強会事業

i. 月 1 回、医療従事者を対象とした対話のためのワークショップ「irori（いろり）」を開催した。

●第 34 回　2017/10/03（火）
「高齢者と家族を支える これからの在宅医療」
～家族療法を取り入れた、認知症への新しいアプローチ～
医療法人至高会 在宅療養支援診療所 たかせクリニック 理事長　髙瀬 義昌 さん

●第 35 回　2017/11/15（水）
「その人らしい医療・介護の意思決定支援」
～「医療に効くエンディングノート」を作ってみよう！～
株式会社 健育社 代表／薬剤師　畑川 郁江 さん

●第 36 回　2017/12/05（火）
「社会福祉協議会と地域包括ケアシステム」～90 万都市・世田谷区の事例～
社会福祉法人 世田谷区社会福祉協議会 地域福祉課 日常生活支援センター 係長
／社会福祉士　阿藤 京子 さん

●第 37 回　2018/01/18（木）
「健康格差社会への処方箋」～都市型モデルの開発をめざして～
千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授
／大学院 医学研究院 公衆衛生学 教授　近藤 克則 さん

●第 38 回　2018/02/20（火）
「人口減少社会におけるこれからの医療政策」
～元中医協会長が読み解く、2018 年度医療・介護の同時改定～
津田塾大学 総合政策学部 教授／三重大学 大学院医学系研究科 客員教授　森田 朗 さん

●第 39 回　2018/03/16（金）
「医療の費用対効果を考える」～高額医療は本当に国を滅ぼすのか？～
東京大学大学院 薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授　五十嵐 中 さん

●第 40 回　2018/04/17（火）

「認知症の人も安心して外出できる社会とは」

～これからのコミュニティケアと社会参加のあり方を考える～

ビーンズ地域総合ケアセンター 作業療法士／法政大学大学院 政策創造研究科修士課程

CSR 研究所 特任研究員　前田 亮一 さん

●第 41 回　2018/05/09（水）

「地域医療の拠点となる かかりつけ薬局とは」～地域包括ケアを担う薬剤師の姿を考える～

公益財団法人杉浦記念財団 理事長／薬剤師　杉浦 昭子 さん

●第 42 回　2018/06/14（木）

「超高齢社会を元気にする！国・地域・企業の取り組み」

～編集者が読み解く、国や地方自治体の動きと保険外サービスの現状～

株式会社ライフ出版社 代表取締役　徳田 武 さん

●第 43 回　2018/07/22（日）

「健康と人とをつなぐコミュニティナースの活動」

～病院を出て地域に飛び込んだ看護師たちの思いとは～

コミュニティナースプロジェクト１期生／訪問看護師　小原 恵美 さん

●第 44 回　2018/08/08（水）

「遠隔医療の最前線」～保険適用されたオンライン診療、その現状と課題～

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 取締役 事業本部長　戸上 浩昭 さん

●第 45 回　2018/09/11（火）

「医療と地域とわたしの未来」～サードパス活動報告会＆参加者交流会～

【写真】irori ワークショップの様子

ii.　地域内で出張 irori ワークショップを開催した。

＜リエゾンファーマシーセミナー＞

昨年度の杉浦地域医療振興助成に採択されたことを受け、これまで実施していた複数の調剤薬局薬剤師の勉強会から、地域の中核病院薬剤部との薬薬連携勉強会へと企画を発展させて実施した。県の病院薬剤師会や市の薬剤師会にも賛同いただき、いくつかの回は共催として開催できた。

表：リエゾンファーマシーセミナーの活動（2017/10/01～2018/09/30）

日時	場所	内容	講師
2017/12/14	北浦和 カルタスホール	第 2 回薬薬連携勉強会 「慢性腎臓病（CKD）における薬物治療」	大野洋一 （埼玉医科大学腎臓内科兼地域医学推進センター）
2018/01/15	アイン薬局浦和店 待合室	世話人会	－
2018/01/24	さいたま市立病院 仮設棟会議室	第 3 回薬薬連携勉強会 「地域医療における薬剤師の役割」	金澤幸江 （土浦薬剤師会）
2018/02/26	阪神調剤薬局 浦和店待合室	世話人会	－
2018/03/06	さいたま市立病院 仮設棟会議室	第 4 回薬薬連携勉強会 「今求められる連携と薬剤師の役割」	平井みどり （神戸大学）

【写真】リエゾンファーマシーセミナーの様子

門前調剤薬局薬剤師が中心となって実践する コンコーダンスと地域多職種連携

神植 達也
アイン薬局　浦和店

1.活動の背景

さいたま市立病院前の門前調剤薬局6施設（アイン薬局浦和店、飛鳥薬局浦和店、おか調剤本店・東店、阪神調剤薬局浦和店、ヒロ薬局浦和店）は、2015年12月から薬剤師同士が交流し学び合う「リエゾンファーマシーセミナー」を実施し、ワークショップを通じて患者さんとどう向き合うかというコンコーダンススキルについて共に学んできた。2016年度からは、各薬局長を世話人とした研究会として組織化し、より実践的な活動を目指している。

調剤薬局は、厚生労働省の「患者のための薬局ビジョン」においても「門前からかかりつけ、そして地域へ」「対物業務から対人業務へ」等の役割転換を求める言葉が並んでいるように、地域包括ケアの中で新たな役割を求められている現状がある。特に、地域の中核病院のような大病院の患者を地域と繋げていくためには、門前薬局の薬剤師が果たす役割は大きいと考えられる。

今回リエゾンファーマシーセミナーでは、これまでに学んだコンコーダンススキルを活用した各薬局における患者コミュニケーションの実践と、地域の中核病院であるさいたま市立病院薬剤部との病薬連携の推進を目的として、定期的な勉強会を開催し、薬剤師のスキルアップと顔の見える関係づくりに取り組んだ。将来的には、現在の薬薬連携から、多職種を巻き込んだ医療連携、さらに病院と診療所を繋ぐ病診連携や介護との連携などへの発展も視野にいれ、北浦和地域の医療者の集う場に育てていくと共に、調剤薬局がハブとなった効果的な地域医療連携モデルの構築に繋げていきたいと考えている。

2.活動内容と実績

リエゾンファーマシーセミナーとして実施していた勉強会の名称を「薬薬連携勉強会」と名付け、調剤薬局薬剤師だけでなく病院薬剤部や地域の他薬局の薬剤師も参加可能な会に変更し、今年度4回実施した。会場も、これまで調剤薬局の待合室で実施していたが、なるべく市立病院内の会議室を使わせていただけるよう調整した。また、勉強会に先立ち、各薬局の薬局長による「世話人会」や、調剤薬局薬剤師のみでの「連携ミーティング」を随時実施し、事前に情報共有や会の方向性の検討を行った。

第1、2回では、さいたま市立病院で外来を持つ医師に講師を依頼し、処方意図を理解するという点に主眼を置いた。第3、4回では、他地域で先進的な活動を進めてこられた薬剤師に講師を依頼し、薬局薬剤師と病院薬剤師それぞれが、地域でどのような役割を果たすことができるかについて学びを深めた。第1～3回では埼玉県病院薬剤師会の単位認定を受け、第4回はさいたま市薬剤師会との共催での開催となった。全4回の勉強会を通じ、延べ70名以上の薬剤師が参加した。

表 リエゾンファーマシーセミナーの活動（2017/04/01 ～2018/03/31）

日時	場所	内容	講師
2017/06/16	アイン薬局浦和店待合室	世話人会	
2017/09/21	アイン薬局浦和店待合室	連携ミーティング「服薬情報の処方元へのフィードバック」	神植達也（アイン薬局浦和店）
2017/09/29	さいたま市立病院仮設喫会議室	第１回薬薬連携勉強会「妊娠と薬剤　自己免疫疾患での薬物使用」	廣瀬立夫（さいたま市立病院内科）
2017/12/14	北浦和カルタスホール	第２回薬薬連携勉強会「慢性腎臓病（CKD）における薬物治療」	大野洋一（埼玉医科大学腎臓内科兼地域医学推進センター）
2018/01/15	アイン薬局浦和店待合室	世話人会	
2018/01/24	さいたま市立病院仮設喫会議室	第３回薬薬連携勉強会「地域医療における薬剤師の役割」	金澤幸江（土浦薬剤師会）
2018/02/26	阪神調剤薬局浦和店待合室	世話人会	
2018/03/06	さいたま市立病院仮設喫会議室	第４回薬薬連携勉強会「今求められる連携と薬剤師の役割」	平井みどり（神戸大学）

参加者アンケートのコメントでは「地域連携の重要さがよくわかりました」「今後の仕事に対する考え方行動を変えなくてはと思わされました」等、勉強会の意義を感じたというものが多くみられた一方、「薬薬連携は門前とその病院だけでは、成立していると思いません。地域包括ケアを考えると、さらに幅広く、様々な薬局と病院がつながるべきであると考えます」など、今後の課題も指摘されていた。

3.活動の実際

埼玉県は人口に対して医療従事者の数が全国で最も少ないという特徴を持つ。現在は都内23区や近隣他府県の大学病院への搬送などでカバーされている部分もあるが、今後の高齢者の増加率も全国一という状況を鑑みると、それだけでは対応しきれない医療課題に直面しつつあると考えられ、限られた医療資源を効果的に活用するための医療ネットワークの構築が急がれている。仕組みとしてのハード面での体制構築だけではなく、それを動かしていくための人と人との顔が見える連携を整えておく上で、リエゾンファーマシーセミナーのような地道な交流の場を通じてお互いの事を知ることは、有効に機能すると考えられる。

今年度の活動の中で、これまで調剤薬局薬剤師のみの会であったリエゾンファーマシーセミナーが、病院勤務薬剤師も共に参加できる会に発展したことは、薬薬連携体制構築の足がかりとして貴重な進歩であった。少しの時間ではあるが、会の中で参加者同士の情報交換の機会を持つこともでき、お互いの現状を知ることができた。疑義照会プロトコールの作成など具体的な要望も挙がってきていることから、今後はより実践的にそれぞれの課題を共有し、共に話し合えるような関係の構築を目指したい。

また、埼玉県病院薬剤師会やさいたま市薬剤師会から、後援・共催を通じたサポートを受けられたことも、会の運営上大きく役立った。薬剤師会の方でも地域内での薬薬連携を進めていきたいという目的を持って活動されている状況を伺うことができ、リエゾンファーマシーセミナーの目指している方向性を共有することができたので、これからもより良い協働体制を続けていきたいと考えている。

一方で、コンコーダンスの実践状況や、連携の実践状況について、そのアウトカムを学会発表等の目に見える形でまとめるというところまでは、今回到達できなかった。今後の活動の中で引き続き取り組んでいきたい。

4.謝辞

活動に参加・協力いただいた薬剤師の先生方、講師を務めていただいた先生方、埼玉県病院薬剤師会、さいたま市薬剤師会、杉浦記念財団の関係者の皆さまに、深く感謝申し上げます。

【図】杉浦記念財団 助成報告会での発表ポスター

iii.　NPO 法人 患者中心の医療を共に考え共に実践する協議会（JPPaC）や患者会との共催により、クリスマスコンサート「生きる喜び歌う喜び」を開催した。

●2017/12/01（金）クリスマスコンサート＠せたがやがやがや館 集会室

【写真】クリスマスコンサートの様子

iv.　NPO 法人オレンジアクトの事務局運営を受託し、協働で活動を行った。

＜主な実施イベント＞

●2017/10/31（火）認知症に備えるワークショップ＠シニアステーション糀谷
●2017/11/07（火）VR 認知症体験会＠シニアステーション糀谷
●2017/12/03（日）大田区福祉イベントブース出展＠大田区産業プラザ PiO
●2018/01/21（日）大田区発！認知症への備えを考えるシンポジウム＠池上会館 集会室

＜その他の活動＞

- 東京ホームタウンプロジェクトのプロボノチームと協働で調査を実施
- 大田区民やコールセンター事業者を対象とした認知症講座を開催
- 大田区高齢福祉課より、認知症サポーター養成講座受付業務と徘徊模擬訓練の企画を受託

【写真】（左）ワークショップの様子　（右）シンポジウムの様子

2. その他の事業

i. 他団体の開催する勉強会の講師として、医療・介護従事者などに向けたワークショップの講演を行った。

●2018/02/14（水）杉浦記念財団 医薬品適正使用協働研究会
「これからの医療における場作りの意味」

●2018/02/27（火）西南部在宅医療研究会
「医療介護における場作りや連携の意味」

●2018/03/02（金）薬局共創未来人材育成機構　薬剤師向け Web セミナー
「薬剤師のためのワークショップ入門」

●2018/08/30（木）真和セミナー（パネリスト参加）
「これからのメディカルコミュニケーションを考える」

以上

一般社団法人サードパス

貸借対照表

（2018 年 9 月 30 日現在）

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科　目	金　額	科　目	金　額
流動資産		流動負債	
現金預金	917,735	未払金	13,978
売掛金	641,790	預り金	38,475
未収入金	7,829	流動負債合計	52,453
商品券	20,000	固定負債	
流動資産合計	1,587,354	長期借入金	1,750,000
固定資産		固定負債合計	1,750,000
工具器具備品	14,849	負債の部合計	1,802,453
固定資産合計	14,849	純資産の部	
		繰越利益剰余金	△200,250
		利益剰余金合計	△200,250
		純資産の部合計	△200,250
資産合計	1,602,203	負債・純資産合計	1,602,203

一般社団法人サードパス

損益計算書

（2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日）

（単位：円）

科目	金額	
Ⅰ経常収益		
１．事業収益		
ワークショップ収益	433,000	
書籍販売益	11,800	
オレンジアクト業務委託	1,726,920	
２．受取寄付金	5,300	
３．受取助成金	132,772	
４．その他収益		
受取利息	12	
経常収益計		2,309,804
Ⅱ経常費用		
１．事業費		
役員報酬	1,320,000	
事業所賃貸料	192,149	
荷造運賃	13,941	
広告宣伝費	20,759	
会議費	64,258	
通信費	1,450	
支払手数料	3,132	
貸借料	19,560	
支払報酬料	328,888	
事業費計	1,964,137	
２．管理費		
給料手当	120,000	
法定福利費	178,899	
福利厚生費	9,713	
事業所賃貸料	192,149	
消耗品費	819	
減価償却費	29,694	
管理費計	531,274	
経常費用計		2,495,411
税引前当期純利益		△185,607
法人税、住民税及び事業税		70,600
当期純利益		△256,207